



# 中小企業経営を後押しする 「障がい者雇用」のかたち

## ①障がい者雇用の歴史と現況

中小企業活力向上オンラインセミナー  
人材・組織分野

中小企業活力向上プロジェクトアドバンス実行委員会事務局



# 中小企業の障がい者雇用の意義

障がい者を積極雇用する企業が年々増えています。



障がい者雇用にあたっては課題も生じますが、



人材不足解決や職場環境改善の期待も持てます。

実際にwin-winの関係性を築いている  
中小企業も少なくありません。





# 障がい者雇用の歴史

## ある中小企業の風景

いつも仕事が早いし、正確だし、本当に助かるよ

データ入力終わりました。

この仕事やりがいがあって好きなんです！

最初は心配だったが、来てくれて本当に良かったな。





# 障がい者雇用の歴史

## 障がい者雇用の主な歴史

### <1960年代>

身体障害者雇用促進法が制定  
精神薄弱者福祉法が制定  
精神衛生法が改定

### <1970年代>

身体障がい者の雇用に義務化

### <1980年代>

身体障害者雇用促進法が障害者雇用促進法に改定

### <現在>

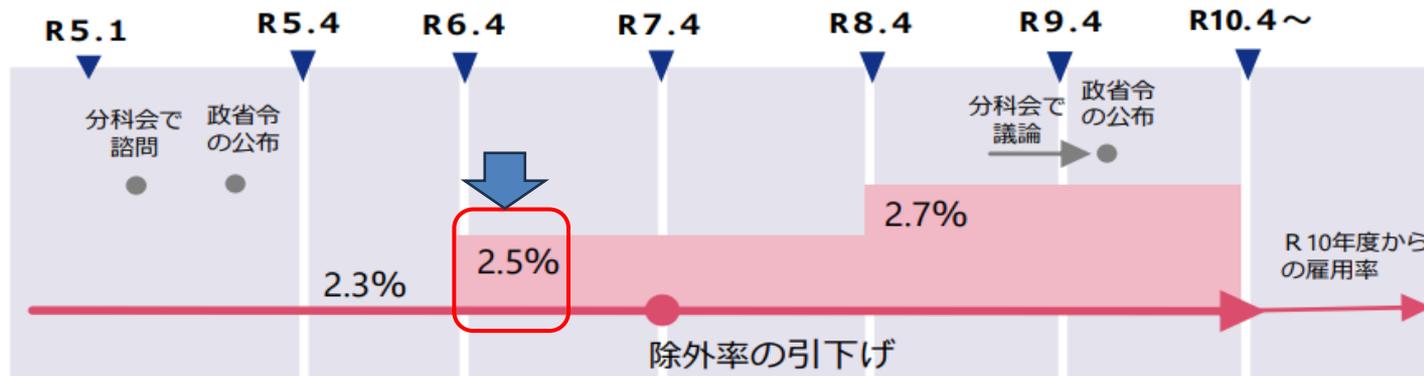
精神障がい者の雇用に義務化(2018年～)



# 障がい者雇用のルール

## 障害者雇用率制度

民間企業の障がい者の法定雇用率は2.5%です。従業員を40人以上雇用している事業主は、障がい者を1人以上雇用しなければなりません。さらに法定雇用率は、2026年度からは2.7%と段階的な引き上げが予定されています。

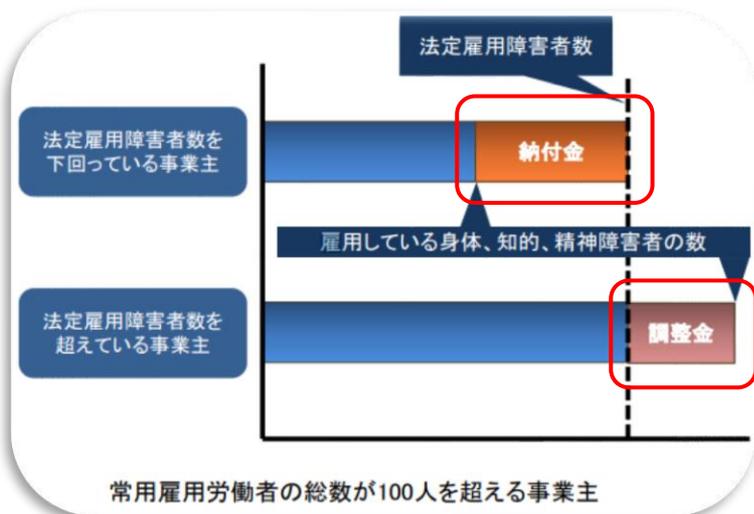




# 障がい者雇用のルール

## 障害者雇用納付金制度

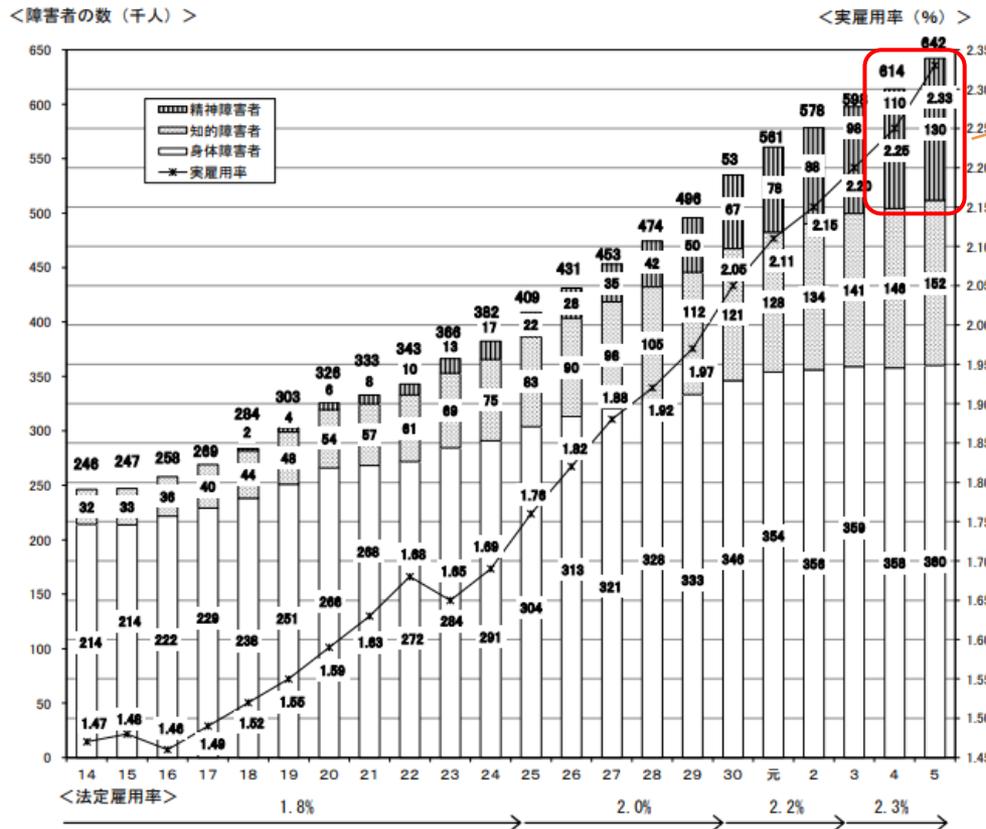
法定雇用率を未達成の企業のうち、常用労働者100人超の企業から、障害者雇用納付金が徴収されます。その納付金を財源として雇用率を達成する障害者雇用調整金をはじめとする各種助成金が支給されます。





# 障がい者雇用の現況

## 民間企業における障害者の雇用状況(令和5年)

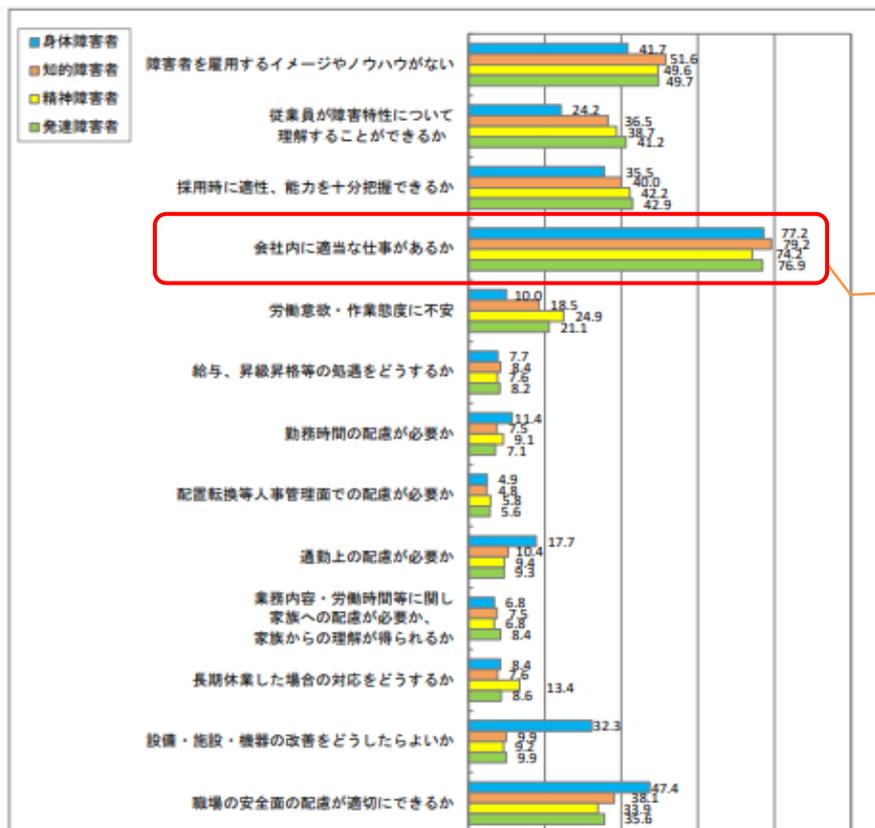


精神障がい者は  
130,298人(同18.7%  
増)と、特に伸び率が  
大きかったようです。



# 障がい者雇用の現況

## 障がい者雇用上の課題及び配慮について



最も多くあげられた障がい者雇用にあたっての課題は「会社内に適当な仕事があるか」となっています。